

遺伝資源等の収集・評価・保存・配布（ジーンバンク事業）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010159

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



遺伝資源等の収集・評価・保存・配布（ジーンバンク事業）

養殖研究所 生産技術部育種研究グループ

共同研究機関 北海道区水産研究所，東北区水産研究所，中央水産研究所，西海区水産研究所，養殖研究所病害防除部

研究の背景・目的

1. 水産動物の餌となる微細藻類や食品加工に役立つ海洋微生物，あるいはアマノリ類・コンブ類・ワカメ類など海藻産業として重要な大型藻類は，育種により，その有用性をさらに価値あるものにする事ができます。
2. これらの特性を調査し，個体で長期保存し，必要に応じて配布を行うことは，養殖業者や水産研究機関へのサービスとして，とても重要です。
3. 本事業では，2期中期計画中に，特性が把握できた株を100点以上の配布すること，また各株の特性を広く知ってもらうため，情報をインターネットなどで公開することを目的としています。

研究成果

1. 3年間の配布実績は，有償配布：84点，各種事業およびプロ研に基づく配布に限定した無償配布：45点，合計129点で，これらが研究や産業に利用されました。中期計画の目標点数（5年間に100件）を3年目で上回ることができました（図1）。

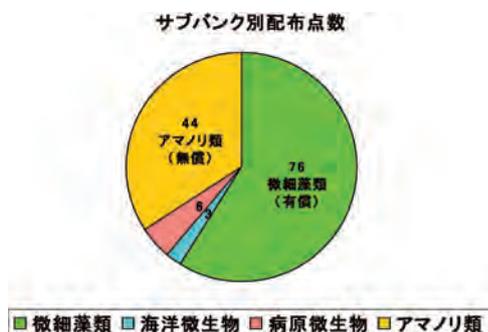


図1. 第2期中期計画に配布した株の実績

2. 配布規定や配布要領を改訂して，より多くの方々に利用して頂けるようにし，これをネットで公開しています。
3. 大型藻類に関する情報も整え，配布体制を整えました。これまではプロジェクト研究や事業での配布でしたが，有用株をより広く活用してもらえようになりました。
4. ホームページの更新案を作成しました（図2）。これにより，さらに多くの情報を提供できます。

波及効果

1. 餌となる微細藻類は，二枚貝類や甲殻類の餌として利用される他，二酸化炭素削減や水質浄化に関する研究の材料としても広く利用されています。
2. 海洋微生物は，水産加工食品を作る過程で有効利用され，新たな利用方法の研究に貢献しています。
3. アマノリ類，コンブ類，ワカメ類は重要な産業対象種で，新たな品種の作出を目指す研究に使われています。とりわけ野生種や希少種は，育種素材として重要です。

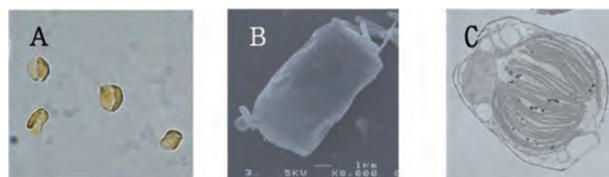


図2. ホームページでの保存株の特性紹介の例

A：光学顕微鏡，B：走査電顕，C：透過電顕で観た形状写真は，二枚貝類などの餌として重要で，配布希望の多い珪藻類：キートセロスの形をわかりやすく示しました。適切な培養条件などもわかるように工夫しています。